

# 研修記録シート(実務研修)の説明

この研修記録シートは「受講前」、「受講直後」、「受講3ヶ月後」に研修の評価をするものです。  
本シートにつきましては、**グーグルフォーム入力前**の手元資料としてご活用ください。

## (1)シートの種類

このシートは2種類で構成されています。

### ●シート1(目標)



研修を通して1枚

### ●シート2(評価)



科目毎に1枚ずつ

### ①研修記録シート1(目標)



「受講者」と「管理者」が受講に当たっての目標と評価(効果)を共有するためのシートです。

#### 受講前

受講前に、「受講者」と「管理者」が相談して「研修に期待すること」「目標」を記入して下さい。

#### 受講3ヶ月後

受講3ヶ月後に、「受講者」と「管理者」が目標に対する評価を記入してください。**(提出不要)**

### ②研修記録シート2(評価)



「受講者」が研修の「受講前」「受講直後」「受講3ヶ月後」に記入し、自己評価をするためのシートです。  
科目毎にシートがあり、学ぶ内容に沿って自己評価を記入します。

#### 受講前

各項目について、受講前の段階の自身の自己評価を記入してください。

#### 受講直後

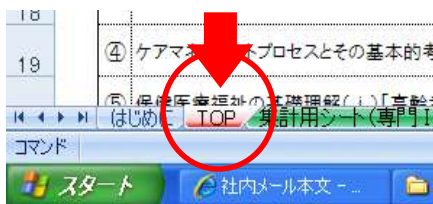
受講直後の自己評価を記入し、提出してください。

#### 受講3ヶ月後

受講3ヶ月後を目途に、実践で活用した際の自己評価を記入してください。**(提出不要)**

## (2)入力方法

① 入力するには、画面下の「TOP」シートをクリックします。



② シートを選択して入力します。 ※入力後は忘れずに保存して下さい。

●シート1(目標)

シート名	
1. 研修記録シート1(目標)	
2. 研修記録シート2(評価)	※下の表からシート番号を選択してください。
3. 研修記録シート3(振り返り)	※下の表からシート番号を選択してください。



●シート2(評価)

課目名	シート番号	
① 介護保険制度の理念と介護支援専門員	シート2	シート3
② 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基本	シート2	シート3
③ 要介護認定等の基礎	シート2	シート3

※シート2は科目毎に選択します。

### (3)提出方法

研修実施機関の事務局まで 구글フォームへ入力してご提出ください。(締切日:令和7年12月11日)  
本研修の実施機関は下記の通りです。

実施機関

一般社団法人 長崎県介護支援専門員協会

【グーグルフォームURL】

<https://x.gd/2y4fi>

### ②提出の時期

シート1(目標)		シート2(評価)	
1. 受講前	○	1. 受講前	○
2. 受講直後	-	2. 受講直後	○
3. 受講3ヶ月後	-	3. 受講3ヶ月後	-

○ …要提出

- …提出不要

## 研修記録シート(実務研修) 入力フォーマット

★本フォーマットにつきましては、グーグルフォーム入力前の手元資料としてご活用ください。

★入力するには、下の表から入力するデータ名(黄色の網掛け部分)をクリックしてください。

シート名	
1. 研修記録シート1(目標)	
2. 研修記録シート2(評価)	※下の表からシート番号を選択してください。

科目名	シート番号
① 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	<a href="#">シート2</a>
② 自立支援のためのケアマネジメントの基本	<a href="#">シート2</a>
③ 相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	<a href="#">シート2</a>
④ 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	<a href="#">シート2</a>
⑤ 利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	<a href="#">シート2</a>
⑥ ケアマネジメントのプロセス	<a href="#">シート2</a>
⑦ 受付及び相談並びに契約	<a href="#">シート2</a>
⑧ アセスメント及びニーズ把握の方法	<a href="#">シート2</a>
⑨ 居宅サービス計画等の作成	<a href="#">シート2</a>
⑩ サービス担当者会議の意義及び進め方	<a href="#">シート2</a>
⑪ モニタリング及び評価	<a href="#">シート2</a>
⑫ 介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	<a href="#">シート2</a>
⑬ 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	<a href="#">シート2</a>
⑭ 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	<a href="#">シート2</a>
⑮ ケアマネジメントに係る法令等の理解	<a href="#">シート2</a>
⑯ 実習オリエンテーション	<a href="#">シート2</a>
⑰ ケアマネジメントの基礎技術に関する実習	<a href="#">シート2</a>
⑱ 実習振り返り	<a href="#">シート2</a>
⑲-1 ケアマネジメントの展開:生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	<a href="#">シート2</a>
⑲-2 ケアマネジメントの展開:脳血管疾患のある方のケアマネジメント	<a href="#">シート2</a>
⑲-3 ケアマネジメントの展開:認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	<a href="#">シート2</a>
⑲-4 ケアマネジメントの展開:大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	<a href="#">シート2</a>

⑬-5	ケアマネジメントの展開：心疾患のある方のケアマネジメント	<a href="#">シート2</a>
⑬-6	ケアマネジメントの展開：誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	<a href="#">シート2</a>
⑬-7	ケアマネジメントの展開：高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解	<a href="#">シート2</a>
⑬-8	ケアマネジメントの展開：看取りに関する事例	<a href="#">シート2</a>
⑬-9	ケアマネジメントの展開：地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	<a href="#">シート2</a>
⑳	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	<a href="#">シート2</a>
㉑	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	<a href="#">シート2</a>

# 研修記録シート1(目標)

この事前提出シートは、研修受講前に「受講者」と「管理者」が受講に当たっての目標を共有するためのものです。  
研修に期待すること、目標、成果等を記入してください。  
赤枠内を入力してください。

研修名:

実務研修

日程

～

氏名

会場

受講決定番号

## 1. 受講前

受講者記入欄 : 受講目標(研修後にどのような行動ができるようになりたいか)を記載してください。

入力日

管理者記入欄 : 受講者に研修で学んでほしいこと・期待することを記載してください。

記入者氏名

所属先及び役職

入力日

役職

## 2. 受講後(3カ月後程度)

受講者記入欄 : 受講成果(目標の達成と実践への活用の状況)の自己評価を記載してください。

入力日

管理者記入欄 : 受講成果(受講者の目標の達成と実践への活用状況)を記載してください。

記入者氏名

所属先及び役職

入力日

役職

※受講目標は受講者と管理者で相談して決めてください。

※管理者欄は、受講者が管理者本人、または、実務に就いていない等の理由により、記入できない場合は、その旨記載ください。

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	介護保険制度創設の背景や基本理念について説明できる。				
②	地域包括ケアシステムが求められる背景とその考え方について説明できる。				
③	地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた自らの地域における取組状況(関連する法制度や事業等の動向等)について述べることができる。				
④	介護保険制度におけるケアマネジメントの役割や機能について説明できる。				
⑤	介護サービスの利用手続き(要介護認定等に関する基本的な視点と概要)を述べることができる。				
⑥	居宅サービス計画等の作成の目的と留意点を述べることができる。				
⑦	保険給付及び給付管理等の仕組みを述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：②自立支援のためのケアマネジメントの基本

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	ケアマネジメントの成り立ちや機能について説明できる。				
②	運営基準に遵守したケアマネジメントの重要性を説明できる。				
③	自立支援の考え方や自立支援のためのケアマネジメントの必要性について説明できる。				
④	インフォーマルサービス等も含めた社会資源を活用したケアマネジメントの必要性について説明できる。				
⑤	家族等に対する支援の重要性や支援における介護支援専門員の役割について説明できる。				
⑥	家族等の支援に関連する法制度や事業等の動向について述べることができる。				
⑦	介護予防ケアマネジメントの意義や目的、対象者について説明できる。				
⑧	介護予防ケアマネジメントの流れとケアマネジメントプロセスについて述べることができる。				
⑨	「科学的介護情報システム(LIFE)」をはじめとした、各種データやITをケアマネジメントプロセスに活用することの意義や目的について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいくほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：③相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	直接援助を行う職種と相談援助を行う職種との役割や視点の違いについて説明できる。				
②	相談援助を行う職種の基本姿勢について説明できる。				
③	相談援助を行う上での留意点について説明できる。				
④	利用者を多面的に捉える視点の重要性について説明できる。				
⑤	相談援助を行う上で自己を客観視することの重要性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない



## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：④人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	人権と尊厳を支える専門職として求められる姿勢について説明できる。				
②	ケアマネジメントを実践する上での介護支援専門員としての倫理原則について説明できる。				
③	日常業務において起こりうる倫理的課題に対し向き合うことの重要性について説明できる。				
④	高齢者の人権や尊厳を守るための制度の内容や利用方法について説明できる。				
⑤	高齢者の意思決定支援の必要性や基本的なプロセスについて説明することができる。				
⑥	(先輩や上司の指導を受けながら、)介護支援専門員としての倫理原則に基づいた、ケアマネジメントプロセスの実施ができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑤利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	介護支援専門員として行う説明の意義・目的・責任について説明できる。				
②	利用者や家族に対し、理解度に配慮した説明を行うことの重要性について説明できる。				
③	多職種及び場面に応じた説明を行うことができる。				
④	説明から合意に向かうプロセスの重要性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑥ケアマネジメントのプロセス

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	ケアマネジメントプロセスの構成と流れについて説明できる。				
②	各プロセスの意義と目的について説明できる。				
③	各プロセスの関連性を述べることができる。				
④	ケアマネジメントプロセスの全体像について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑦受付及び相談並びに契約

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	インテークの意義と目的について説明できる。				
②	受付及び相談と面接の場面における援助の留意点について説明できる。				
③	利用者及び家族との信頼関係の構築の重要性について説明できる。				
④	契約行為を行うにあたっての留意事項について説明できる。				
⑤	契約の仕組みが利用者主体であることの意義と仕組みについて説明できる。				
⑥	利用者の状況に合った面接に必要な情報や書類の準備を実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑧アセスメント及びニーズ把握の方法

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	アセスメントの意義と目的について説明できる。				
②	アセスメントにおける情報収集の項目や目的を説明できる。				
③	アセスメントからニーズを導き出す思考過程を説明できる。				
④	利用者・家族の意向の確認を実施できる。				
⑤	状態の維持・改善・悪化の可能性を予測できる。				
⑥	利用者・家族から得た情報に基づく課題の抽出を実施できる。				
⑦	利用者・家族の持っている力を把握できる。				
⑧	多職種による情報を関連づけたアセスメントを実施できる。				
⑨	利用者・家族のニーズの優先順位を判断できる。				
⑩	再アセスメントの重要性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑨居宅サービス計画等の作成

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	居宅サービス計画の意義と目的について説明できる。				
②	居宅サービス計画等の様式における記載の目的について説明できる。				
③	利用者、家族の意向を踏まえた課題の解決に向けた目標の設定の方法について説明できる。				
④	居宅サービス計画実施後の生活の変化を予測する際の留意点を説明できる。				
⑤	居宅サービス計画等に必要な社会資源(インフォーマルサービス等)を位置付けることの必要性について説明できる。				
⑥	生活目標に応じた必要な支援内容(サービス内容)を判断できる。				
⑦	生活目標を達成するための期間の設定を判断できる。				
⑧	(先輩や上司の指導を受けながら、)利用者、家族が合意できる居宅サービス計画書の作成を実施できる。				
⑨	居宅サービス計画等と個別サービス計画の連動の重要性について説明できる。				
⑩	介護予防サービス・支援計画の関連様式の作成方法、作成のための課題分析の考え方について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑩サービス担当者会議の意義及び進め方

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	サービス担当者会議の目的と意義について説明できる。				
②	サービス利用におけるチームアプローチの重要性について説明できる。				
③	(先輩や上司の指導を受けながら、)サービス担当者会議開催のプロセスに基づき、開催準備及び会議の進行ができる。				
④	個別サービス計画との整合性を確認することの重要性について説明できる。				
⑤	サービス担当者会議に関わる内容の記録の作成方法を説明できる。				
⑥	多職種と、今後の課題に関する確認を行う際の留意点について説明できる。				
⑦	(先輩や上司の指導を受けながら、)利用者の状態像や運営基準に合わせたサービス担当者会議の意義について理解した上で、会議の開催に向けた準備ができる。				
⑧	サービス担当者会議開催理由に合わせた検討の留意点について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
 【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑪モニタリング及び評価

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	モニタリングの意義と目的について説明できる。				
②	目標に対する各サービスの達成度(効果)の検証の必要性について説明できる。				
③	目標に対する各サービスの達成度(効果)についての評価方法について説明できる。				
④	モニタリング結果の記録作成の意味と重要性について説明できる。				
⑤	居宅サービス計画の再作成を行う方法と技術について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない



## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑫介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	利用者及び家族の支援に際し、チームアプローチの意義と目的について説明できる。				
②	チームを構成する各専門性の役割について説明できる。				
③	インフォーマルサービスの役割について説明できる。				
④	チームにおける介護支援専門員の役割について説明できる。				
⑤	アセスメントに基づく必要なチームの形成を実施できる。				
⑥	チームにおける情報共有を実施できる。				
⑦	円滑なチーム運営を実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑬地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	地域包括ケアシステムの構築に向けた取組が求められる背景について説明できる。				
②	地域包括ケアシステムを構築する意義と目的について説明できる。				
③	利用者の地域の社会資源の調査を実施できる。				
④	地域包括ケアシステムの構築に向けて介護支援専門員が果たすべき役割について説明できる。				
⑤	地域の現状、課題、目指す方向性、社会資源の整備状況等を述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目「」の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑭生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	医療との連携の意義と目的について説明できる。				
②	医療機関や医療職からの情報収集及び提供の方法及び内容について説明できる。				
③	地域の在宅医療・介護の連携を促進する仕組みについて説明できる。				
④	多職種協働の意義と目的について説明できる。				
⑤	多職種間で情報を共有することの重要性について説明できる。				
⑥	多職種協働における個人情報を取り扱う上での利用者とその家族の同意の必要性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑮ケアマネジメントに係る法令等の理解

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	介護保険法の意義と目的について説明できる。				
②	介護保険法に遵守したケアマネジメントを実施できる。				
③	利用者を取り巻く諸制度について説明できる。				
④	実践上の法令遵守について説明できる。				
⑤	介護報酬に係る関係告示や通知等の概要について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいくほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑩実習オリエンテーション

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	研修における実習の位置づけと目的について説明できる。				
②	実習協力者に実習内容について説明できる。				
③	実習における心構えについて説明できる。				
④	実習に取り組む姿勢について説明できる。				
⑤	個人情報保護をはじめとした実習に必要な資料の準備ができる。				
⑥	実習協力者の状況に合わせて実習を行うことの必要性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑰ケアマネジメントの基礎技術に関する実習

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	ケアマネジメントプロセスの実践にあたっての留意点を踏まえ、観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる。				
②	ケアマネジメントプロセスについて、指導者のもと、実習先で体験した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる。				
③	実際の生活環境を観察した結果を盛り込んだ実習報告書の作成ができる。				
④	実習協力者の状況に合わせて実習を実施できる。				
⑤	給付管理業務の流れを述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑱実習振り返り

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	今後の学習課題について説明できる。				
②	ケアマネジメントプロセスに沿って、実習で作成した居宅サービス計画について説明できる。				
③	実習を通じて倫理課題について説明できる。				
④	受講者間相互の話し合いにおいて、不足している知識について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑩-1ケアマネジメントの展開：生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいたケアマネジメントの重要性について説明できる。				
②	ケアマネジメントを必要とする高齢者の特性について説明できる。				
③	高齢者の代表的な疾患や症候群の特徴を述べるができる。				
④	疾患別ケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。				
⑤	適切なケアマネジメント手法作成の背景、目的、基本的な考え方について説明できる。				
⑥	適切なケアマネジメント手法の「基本ケア」の位置づけ、構成を述べるができる。				
⑦	本人が有する疾患に関係なく、在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容を述べるができる。 (先輩や上司の指導を受けながら、)				
⑧	ケアマネジメント手法の考え方にに基づき、基本ケアに関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない



## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑩-2ケアマネジメントの展開：脳血管疾患のある方のケアマネジメント

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	疾患の性質上、身体機能の制約や高次脳機能障害が生じやすい疾患の特徴について説明できる。				
②	望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。				
③	脳血管疾患のある方のケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。				
④	脳血管疾患を有する方の在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容(環境調整、リハビリテーションを含む)を述べる				
⑤	(先輩や上司の指導を受けながら、)適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、疾患別ケア(脳血管疾患)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑩-3ケアマネジメントの展開：認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	認知症の特徴や療養上の留意点、起こりやすい課題について説明できる。				
②	認知症における療養上の留意点・倫理的な対応及び、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。				
③	認知症のある方のケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。				
④	認知症のある方の在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容(家族に対する支援や地域への配慮と協働の視点を含む)を述べることができる。				
⑤	(先輩や上司の指導を受けながら、)適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、疾患別ケア(認知症)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑩-4ケアマネジメントの展開：大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	大腿骨頸部骨折の特徴や療養上の留意点、起こりやすい課題について説明できる。				
②	大腿骨頸部骨折のある方の療養上の留意点・倫理的な対応及び、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。				
③	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。				
④	大腿骨頸部骨折のある方の在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容(リハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用を含む)を述べることができる。				
⑤	(先輩や上司の指導を受けながら、)適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、疾患別ケア(大腿骨頸部骨折)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑩-5ケアマネジメントの展開：心疾患のある方のケアマネジメント

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	心不全につながる心疾患の特徴について説明できる。				
②	心疾患のある方のケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。				
③	心疾患のある方のケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割について説明できる。				
④	心疾患を有する方の在宅のケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容を述べることができる。				
⑤	(先輩や上司の指導を受けながら、)適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、疾患別ケア(心疾患)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：⑩-6ケアマネジメントの展開：誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	誤嚥性肺炎の特徴について説明できる。				
②	誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントにおける留意点等を踏まえた支援に当たってのポイントについて説明できる。				
③	誤嚥性肺炎の予防における基本ケアの重要性を説明できる。				
④	誤嚥性肺炎の予防における介護支援専門員の役割について説明できる。				
⑤	誤嚥性肺炎の予防に向けたケアマネジメントやその前提となる多職種との情報共有において必要な視点、必要性が想定される支援内容を述べることができる。				
⑥	(先輩や上司の指導を受けながら、)適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、疾患別ケア(誤嚥性肺炎の予防)に関するアセスメントや居宅サービスの計画等の作成ができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
**【選択肢】** 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑬-7ケアマネジメントの展開：高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	高齢者に多い疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の種類、原因、症状について述べることができる。				
②	高齢者に多い疾患等の生活をする上での障害及び予防・改善方法について述べるができる。				
③	高齢者に多い疾患等における療養上の留意点について述べるができる。				
④	高齢者に多い疾患等の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について述べるができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑩-8ケアマネジメントの展開：看取りに関する事例

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	看取りにおける介護支援専門員の役割や適切な姿勢について述べるができる。				
②	看取りに関する各種サービス等の活用方法や、医療職をはじめとする多職種との連携・協働を効果的に行うためのポイントについて述べるができる。				
③	看取りに向けた利用者及び家族との段階的な関わりの変化について述べるができる。				
④	看取りのケースにおいて、在宅生活の支援において起こりやすい課題について述べるができる。				
⑤	看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について述べるができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいくほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修

科目名：⑬-9ケアマネジメントの展開：地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	他法他制度の活用が必要な事例を学ぶ必要性について説明できる。				
②	他法他制度の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点について説明できる。				
③	他法他制度の活用が必要な事例のマネジメントを行う際の社会資源の活用に向けた関係機関との連携方法や状態に応じた多様なサービスの活用方法について述べることができる。				
④	関連する他法他制度(難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等)の内容や動向について述べるができる。				
⑤	難病のケアマネジメントの基本的な考え方やプロセス、医療や障害福祉の関係機関との連携・多職種連携の必要性について説明できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない



## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：②⑩アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	事例に応じたケアマネジメントについて説明できる。				
②	ケアマネジメントプロセスごとの課題について説明できる。				
③	講評を受け、今後の自己課題の設定を実施できる。				
④	自己の課題に応じた解決策について説明できる。				
⑤	事例を基にサービス担当者会議、モニタリング場面等を模擬的に実施できる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。  
 【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない

## 研修記録シート2(評価)

この振り返りシートは、科目の受講前後で各自の理解度を把握し、受講中の学習効果の向上と、受講後の学習のポイントを焦点化し、継続的な資質向上に役立てるものです。本科目を学習した時点で感じた事を書き留め、今後の学習方針や課題への取り組みを考える際に見返してみましょう。

研修名：実務研修
科目名：②研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

受講日	1		時間	1		～		氏名	
	2			2		～			
会場	1							受講決定番号	
	2								

項 目		受講前	受講直後	実践評価 (3ヶ月後)	備 考
記入日(入力日)					
①	受講を通しての自らの今後の学習課題・目標の設定を実施できる。				
②	研修を通じ、自分の活動意欲の向上を実施できる。				
③	学習課題を基にケアマネジメントプロセスを実施できる。				
④	自己の介護支援専門員としての活動の準備を実施できる。				
⑤	受講者間のネットワークの構築を実施できる。				
⑥	専門職としての継続的な自己研鑽の必要性について説明できる。				
⑦	地域における学びの場や機会の状況について述べることができる。				

※研修は自己評価とし、4段階評価で、数字が大きいほど高評価、数字が小さいほど低評価として記入してください。

【選択肢】 4. できる 3. 概ねできる 2. ほとんどできない 1. 全くできない